

## 筑波大学若手教員奨励賞の受賞にあたって

吉岡洋輔 助教



このたび、筑波大学若手教員奨励賞を受賞いたしました。このような荣誉ある賞をいただけましたのも、ひとえに大澤教授や学内外の共同研究者、研究・教育活動を支援して頂いている生命環境エリア支援室や農林技術センターの事務・技術職員の皆様、そして植物育種学分野の技術補佐員や学生の皆様のお力添えの賜と心より御礼申し上げます。これからも皆様の期待に添えるよう、研究・教育活動におきまして、よりいっそうの努力を惜しまぬ所存でございます。

私は育種（品種改良）という「ものづくり」に携わり、わが国、そして世界の農業問題の解決に貢献したいと考え、日々研究に取り組んでいます。近年、ゲノム解析技術やそれを利用した育種技術は大きく発展し、様々な農業問題を解決する新品種が生み出されてきました。一方で、未解決な問題も数多く残されており、これまで以上に育種への期待が高まっています。特に、現在の育種には、栽培環境の不安定化や病虫害の蔓延等の生産現場の問題や、生産者や消費者の多様なニーズに迅速に対応できることがこれまで以上に強く求められています。私は今後も、育種や育種研究の基盤となる形質評価技術の高度化、ゲノム情報を利用した複雑形質の育種技術開発、遺伝資源を活用した野菜の遺伝・育種学的研究と育種素材開発に取り組むたいと考えています。いずれの研究課題も研究の最終的な目標を単に知見の獲得にするのではなく、より実用的な育種技術や

育種素材の開発にまで高めることにより、研究成果を迅速に社会に還元することを目指しています。私はこれらの研究を通して、わが国、そして世界の農業問題を解決する新品種の開発に貢献したいと考えています。

植物育種学分野：<http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~ikusyu/>

**【学生からの先生評】**

この度は栄えある受賞、誠におめでとうございます。植物育種学分野に所属してから2年間、吉岡先生の厳しくも優しい指導を受けながら楽しく研究をしています。いつも情熱をもって研究や教育に取り組んでいる先生の姿勢から多くのことを学んでいます。また、多くの仕事を抱えている中で、学生の研究・教育環境の整備に多大な労力と時間を割いていただいていることにとても感謝しています。これからもより一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。

(博士後期2年・陳蕤坤)